

JA全農ウィークリー

3面

子ども食堂に直売所の野菜を寄贈

(埼玉県本部)

5面



初めて発行した「全農リポート 子ども編、ママ・パパ編」(5面)



クミアイプロパン絵のコンクール特選受賞作品(4面)



直売所の野菜を寄贈する埼玉県の3JAの組合長と子ども食堂の代表者ら(3面)

- 2 家畜衛生研究所に
農林水産技術会議会長賞(畜産生産部)
JA愛知みなみで家畜防疫研修を実施
(畜産生産部)
スマート農業×若者力プロジェクトが始動
(広報・調査部)
- 3 復旧したJR線に乗って親子で農業体験
(広島県本部)
「おにぎりダイエット+ウォーク」で
出前授業(米穀生産集荷対策部)
- 4 フルーツフォトコンテスト「パシヤフル!」
結果発表(長野県本部)
最終となる35回目クミアイプロパン絵の
コンクール全国審査(総合エネルギー部)
徳島県食材で高校生レシピコンテスト
(徳島県本部)

- 6 JAズームイン(富山:JAなのはな)
- 7 畜産情勢(畜産総合対策部)
- 8 直売所の感謝祭でNHKが公開収録
(広島県本部)
ラジオ番組「JA全農 COUNTDOWN
JAPAN」プレゼント(広報・調査部)
JAタウンショップ紹介
JA紀州(和歌山県)

Web版JA全農ウィークリーは
こちらから<https://www.zennoh-weekly.jp/>Web
限定米粉シフォンケーキが
パフェになって登場(米穀部)香川で野球教室開催
プロ野球選手が熱血指導(広報・調査部)

『全農リポート子ども編、ママ・パパ編』を初めて発行(広報・調査部)

News!



家畜衛生研究所に農林水産技術会議会長賞

疾病検査システムの開発が評価される

畜産生産部

家畜衛生研究所は、令和元年度（第20回）民間部門農林水産研究開発功績者表彰の農林水産技術会議会長賞を受賞し、11月20日に都内で表彰式が開かれました。

この表彰は、農林水産省などが主催し、研究開発に関する優れた功績が表彰されるものです。このたびの受賞対象は、キヤノンメディカルシステムズ（株）と共同で行った「DNAチップを利用した家畜感染症向け新検査システムの開発」。本技術の活用が畜産業の競争力強化につながることで評価されました。



受賞したキヤノンメディカルシステムズ（株）分子検査ソリューション事業推進部の後藤浩朗部長（中央）と全農家畜衛生研究所の宇留野勝好所長（左）。右は農林水産技術会議の小林芳雄会長

News!



JA愛知みなみで家畜防疫研修を実施

CSF（豚コレラ）に対応した防疫対策を講演

畜産生産部

家畜衛生研究所クリニックセンターは11月20日、JA愛知みなみ主催の養豚研修会で、CSF（豚コレラ）などの家畜疾病の侵入防止対策について講演を行いました。

今年2月以降、JA愛知みなみ管内ではCSF発生が確認され、組合員が飼養する多くの豚が殺処分されました。

研修会では20人を超す養豚生産者が集まり、事業再開への防疫対策について、大角貴幸センター長とJA東日本くみあい飼料（株）の坂爪義弘部長が講演しました。

畜産生産部は引き続き、防疫対策の啓発活動に取り組みます。



「家畜防疫について」をテーマに講演する大角センター長

News!



スマート農業×若者力 プロジェクトが始動

キックオフイベントで大学生が有識者と意見交換

広報・調査部

20代以下の若者でつくる「農の未来を拓く若者会議」は11月20日、東京都内で「未来農業デザイン」プロジェクトのキックオフイベント（JAグループが協賛）を開きました。

イベントでは、大学生の3チームがロボットやITなど新技術の農業への活用をテーマに発表しました。

パネルセッションでは、作家の佐藤優氏、農林水産省の末松広行事務次官、JA全青協の今野邦仁会長が登壇し、若い人々と農業との関わりなどについて大学生と意見交換しました。



大学生と有識者がパネルセッション

News!



子ども食堂に直売所の野菜を寄贈

JA埼玉ひびきの、くまがや、花園で開始 食品ロス削減にも貢献

埼玉県本部



野菜を寄贈する3JAの組合長と子ども食堂の代表者ら(11月20日、深谷市で)

子ども食堂は、地域の子もたち無償または廉価で食事を提供する活動です。各JAの直売所は生産者と協力して、無償で野菜を寄贈します。地域貢献とともに、食品ロス削減につながる取り組みであり、他地域でも展開を図ります。

埼玉県本部は、県と連携し、子ども食堂への野菜の寄贈を県内JAに提案してきたところ、JA埼玉ひびきの、JAくまがや、JA花園の賛同を得られ、11月から取り組みを始めました。

News!



復旧したJR線に乗って親子で農業体験

昨年の豪雨災害以来の全線開通を受け

広島県本部



小松菜を収穫する親子



全線開通したJR芸備線

昨年7月の西日本豪雨で不通になっていたJR芸備線の全線開通を受けたもので、親子27人が参加。不通だった区間に貸し切り車両を走らせ、駅員や車掌の職業体験、地元JA広島市の協力による小松菜の収穫体験、沿線駅付近での農業祭を盛り込んだツアーは大好評でした。

広島県本部は11月10日、JR西日本(広島支社)との共同企画により、『鉄道・農業』お仕事体験の旅を開きました。

News!



「おにぎりダイエット+ウォーク」で出前授業

健康管理エキスポで専門家が解説

米穀生産集荷対策部



「おにぎりダイエット+ウォーク」に関する説明に聞き入る来場者

全農は米の消費拡大を目的に、おにぎりでカロリーコントロールする「おにぎりダイエットプログラム」に関する普及を進めています。セミナーには、保健師や企業の人事担当者などが来場し、「実はごはんがダイエットにいい」理由など、熱心に聞き入っていました。

「おにぎりダイエット+ウォーク」Webサイトはこちら



全農は11月20日、都内で開かれた「健康診断・健康管理エキスポ」で、「おにぎりダイエット+ウォーク」に関するセミナーを開きました。

News!



フルーツフォトコンテスト「パシャフル！」結果発表

長野県産フルーツの写真が約700点応募

長野県本部



「インスタ映え賞」を受賞した@naonaolin12さんの作品

応募総数約700点の中から、ファミリー賞・ユーモア賞・インスタ映え賞の受賞者に家電商品、JA全農長野賞の受賞者にギフトカードを贈りました。

入賞作品と応募いただいた作品は、Webサイトでご覧いただけます。

「パシャフル！」
ホームページ
<http://shinshufruits.com/>



長野県本部が今年度初めて開催したフルーツフォトコンテスト「パシャフル！」の結果が、11月15日に決まりました。

News!



秀作ぞろい 特選など22点の入賞を決定

最終となる35回目クミアイプロパン絵のコンクール全国審査

総合エネルギー部

全農は11月14日、35回目となるクミアイプロパン絵のコンクルールの全国審査を行い、特選など計22点の入賞作品を決定しました。

今回で最終となるコンクールには全国7県21JA管内の89の小学校から1429点の応募があり、全国審査には107点が進出しました。最終



低学年の部 特選
茨城県五霞町立五霞西小学校 内田柚貴さん(1年)



中学年の部 特選
広島県広島市立中筋小学校 山田陽菜乃さん(3年)



高学年の部 特選
茨城県那珂市立瓜連小学校 檜座篤史さん(5年)

回も素晴らしい作品がそろい、審査講評では「アイデアが優れている作品が多く、影や背景もしっかり描かれている」など高い評価の声がありました。

News!



徳島県食材で高校生レシピコンテスト

「なると金時」で簡単朝食レシピ競う

徳島県本部

徳島県本部が協賛した「とくしまブランドde簡単料理コンテスト2019」(四国大学短期大学部主催)の最終審査が11月24日、徳島市の四国大学で開かれました。

コンテストは、全国の高校生を対象に、徳島県ブランドさつまいも「なると金時」を使用した簡単朝食レシピを募集しました。

最優秀賞には、徳島県立城南高校2年嶋田海音さんの「日本を感じられるカフェモーニング」が選ばれました。



実技審査で試食を行う審査員。右下は最優秀賞の「日本を感じられるカフェモーニング」

『全農リポート 子ども編、ママ・パパ編』を初めて発行

農業や食について漫画などで分かりやすく解説

全農は、農業や食について、また全農の役割について子どもたちや保護者の方々に広く知ってもらうため、「全農リポート 子ども編、ママ・パパ編」を発行しました。子どもを対象としたイベントなどで配布しています。【広報・調査部】



読む方向により1冊にまとめた「全農リポート 子ども編」(左)と「同 ママ・パパ編」。



漫画で全農の役割を紹介



全農グループ取扱商品の紹介 主婦の皆さんの口コミも

一つの冊子を一方から読むと「子ども編」、反対側から読むと「ママ・パパ編」となっています。

食べ物が届くまでにはどんな過程があるの？全農とは？

国産の良さとは？今時の

食育って？

子どもに、そして子どものためにママ・パパに知ってほしいことを、イラストを用いた図解や漫画で分かりやすく仕上げています。

子ども編では、全農の役割・機能を漫画で紹介。また、食べ物がお店に届くまでを図解で紹介し、食べ物の大切さや、食卓に上るまでの生産者の苦労など「いただきます」の意味を考えてもら

えるよう工夫しました。

ママ・パパ編では、「食育」・

「国産」をテーマに構成。「食育」という言葉をよく聞かれるけど、何をしたらいいのかわからない。国産食材がいなのは分かるけど高い……そんなジレンマを抱える保護者の方々に向けて「体験型食育」や「国産の魅力」を専門家に聞きました。

ホームページで公開

『全農リポート子ども編、ママ・パパ編』は全農ホームページで公開しています。電子冊子でご覧いただけるほか、PDFでのダウンロードもできます。

是非ご覧ください。

「全農リポート子ども編、ママ・パパ編」の閲覧・ダウンロードはこちら



<https://www.zennoh.or.jp/about/role.html>

「全農リポート2019」改訂版を公開

「全農リポート2019」の改訂版を12月に公開しました。農泊の取り組みなど、さらなる内容の充実をはかりました。全農ホームページからダウンロードできます。

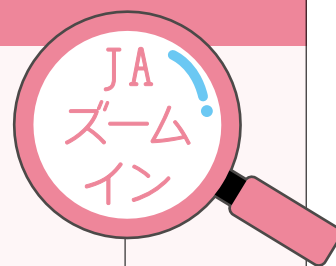


「全農リポート2019」英語版も発行

『全農リポート2019』の英語版を12月に発行しました。海外の取引先向けなどに活用していきます。全農ホームページからダウンロードできます。



「全農リポート2019」英語版のトップメッセージ



元気で人と緑にやさしい

呉羽梨ブランド再構築

JAなのはなは、水稻・大豆を中心に園芸・果樹作物の生産振興を図っています。

梨の産地として「呉羽梨」のブランドを確立しており、栽培面積は135畝、栽培農家は275戸で栽培品種



収穫を待つ「呉羽梨」

は「幸水」が約7割を占め、残りは「豊水」「あきづき」「新高」「新興」です。

梨の産地としての歴史は古く、明治40年に初めて梨栽培が始まり、平成2年には栽培面積230畝、出荷量5067㍑に達しました。

しかしその後は、老齢樹の増加に伴う生産力の低下や産地間競争の激化による市場単価の低迷、生産者の高齢化による後継者不足に悩まされました。さらに平成27年には日本梨の最重要病害である「ナシ黒星病」が大発生し、その対応による防除回数の増加・落葉処理などの作業量増大で負担が増え、栽培面積・生産戸数の減少が加速し、産地が衰

退する状況が続きました。また、選果場は生産者が中心となって運営しているため、生産者の出役などの負担額も課題でした。

生産者全員がエコファーマー

そうした中、JAなのはなでは呉羽梨産地を再構築するため生産者、行政を交え産地活性化委員会を設置し、生産対策、販売流通対策に取り組みました。いち早く環境に配慮した梨栽培を導入するため、生産者全員が「エコファーマー」を取得した他、新品種「あきづき」導入による品種構成の見直し、改植・ジョイント栽培導入など老齢低生産園の計画的な若返りなどを図りま

JAなのはな(富山県)



概要

令和元年10月31日現在

正組合員数	5418人
准組合員数	5564人
職員数	247人
販売品取扱高	25億890万円
購買品取扱高	33億5682万円
貯金残高	1200億5237万円
長期共済保有高	2468億3907万円
主な農産物	米、麦、大豆、梨



選別調製ラインでの機械を使った箱詰め

した。管内に2カ所あった選果場を1カ所に再編し、外観・内部品質センサー、糖度センサー、製品箱詰めロボットを導入しました。

若手世代の就農や新規就農者も増加

その結果、市場や消費者が求める外観・品質、食味の良い呉羽梨の提供と生産

者の負担、選果コストの低減に対応することが可能となりました。これらの取り組みにより、近年では農家の若手世代の就農や地区外からの新規就農者が増加し、産地活性化に寄与しています。

また、大手コンビニチェーンローソン(中部地区限定)では、カットした呉羽梨をカップで販売するなど、より手軽に消費者に提供できるよう取り組んでいます。



ローソンで販売しているカップ「くれは梨」

[畜 産 情 勢]

(畜産総合対策部)



牛肉

需要期に向け上昇を期待

11月の成牛と畜頭数は、速報値約で9万7千頭(前年比90.0%)と前年を下回りました。

11月の東京市場枝肉卸売価格は速報値で、和牛去勢A5が2724円(前年比93.6%)、和牛去勢A4が2413円(同91.6%)、和牛去勢A3が2159円(同88.8%)、交雑牛B3が1601円(同97.0%)、乳牛去勢B2が991円(同92.5%)でした。

農畜産業振興機構が公表した12月の国内出荷予測頭数を品種別にみると、和牛が約5万頭(前年比110.1%)、交雑牛が約2万3千頭(同101.9%)、乳用種が約2万8千頭(同100.5%)で、全体では約10万2千頭(同105.7%)と見込んでいます。

11月の枝肉相場は、荷動きが弱く軟調な展開でした。11月最終週には年末に向けて上昇基調になると期待されましたが、市中の在庫が多いことが影響したとみられ、引き合いは振るわず、やや軟調な相場となりました。12月の枝肉相場については、今後の気温の低下とともに、年末年始に向けた需要期の後押しを受け、上向きに転じていくことに期待します。

牛枝肉相場(東京市場・和牛去勢A-4)
令和元年6月～令和元年11月
平成30年6月～30年11月
(単位: 円/㍑)



豚肉

年末を目指し上伸

11月の全国と畜頭数は、速報値で約139万頭、前年同月比93.0%でした。

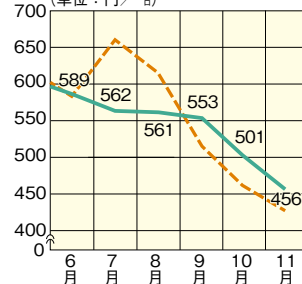
11月の東京肉市場枝肉相場は、速報値で456円/kg(前年同月比103.9%、前月比91.0%)です。

11月の肉豚供給は、東海エリアを中心としたCSF(豚コレラ)の影響のみならず、関東近郊のPED(豚流行性下痢)、また全国的な母豚の繁殖障害も相まって、速報ベースで1日当たりの処理頭数は約6万9320頭となり、前年同月差▲1689頭の3.4%減となった一方で、輸入チルド豚肉が今年最多の輸入量になったことで、潤沢な供給状況となりました。需要面では、気温の冷え込みを背景に一定の荷動きを見せたものの、結果として供給が需要を上回ること、当初予想より相場が下がる結果となりました。

農畜産業振興機構発表の12月出荷予測頭数は、約146万頭(前年同月比100.7%)です。

12月は、鍋野菜が平年並みの価格と供給量が見込まれる中、気温の低下を背景に、需要面では前月と比べ一段増しになると予測します。供給面では、国産の前年並みの出荷に加え、だぶつき気味の輸入チルド豚肉によって、相場への影響は相当程度あると見られるものの、時期的に需要が高まるバラ、カタロースの手当てを背景に、相場は年末を目指して上伸すると予測します。

豚枝肉相場(東京市場規格「上」)
令和元年6月～令和元年11月
平成30年6月～30年11月
(単位: 円/㍑)



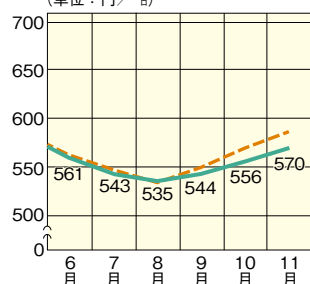
鶏肉

もも肉上げ基調、むね肉強もちあい

11月の平均相場は、もも肉570円/kg(前月比+14円)・むね肉262円/kg(同+8円)正肉合計で832円/2kgと前月比で22円上回りますが、前年比では30円下回りました。もも肉は、月初563円で始まり上げ基調で推移したものの、例年より暖かい日が多く、鍋物需要も芳しくなかったことから、月間通してほぼ強もちあい圏内となり、月末は570円と結果7円高にとどまりました。むね肉は、輸入品価格上昇を背景に加工用での引き合いや、量販店などの特売用で一定需要があったものの、月初258円・月末264円の6円高のもちあい圏内での推移でした。

気象庁の1カ月予想では、12月の気温は北海道を除き高いとされています。最必要期を迎え、鍋物需要およびクリスマス・年末需要への影響も懸念されますが、もも肉は月平均590円の上昇基調と予測します。むね肉についても、引き続き量販店などでの特売需要やサラダチキン向けなどの加工筋の引き合いも堅調で強もちあい圏内で月平均265円と予測します。

ブロイラー市況(もも肉・東京)
令和元年6月～令和元年11月
平成30年6月～30年11月
(単位: 円/㍑)



鶏卵

年内は需給逼迫傾向続く

11月の東京相場の月間平均は、Mサイズ基準値219円(前年比+24円)となりました。11月は、上伸の展開が続いたことで、月末時点ではMサイズ基準値225円となりました。

問屋筋は最必要期に向けて引き合いが強まり、加工筋も一部で積極的なスポット購入の動きが確認できました。また、テーブルエッグについても堅調な荷動きだったことから、全体的に需要は増大しました。

一方、台風被害や成鶏更新・空舎延長事業などの生産調整の影響で供給量は予想を下回って推移したため、需給は逼迫した状況が続きました。

今後については、年末年始に向けた生産調整などもあり、生産量の増大が見込めない中、需要は堅調に推移することが予測されるため、年内は需給が逼迫した傾向が続くと考えられます。

鶏卵相場(東京・Mサイズ基準)
令和元年6月～令和元年11月
平成30年6月～30年11月
(単位: 円/㍑)



直売所の感謝祭でNHKが公開収録

平野レミさんが広島県産食材で料理を披露

広島県本部直営の直売所「とれたて元気市 広島店」(広島市)が11月9日に開いた18周年感謝祭で、NHK「きょうの料理」の公開収録が行われました。【広島県本部】

感謝祭では、県本部のブースの他、生産者が対面販売を行うなど、大いに盛り上がりしました。

NHKの料理番組「きょうの料理」の公開収録には、料理愛好家の平野レミさんと、フリーアナウンサーの後藤繁榮さんが出演。広島県産の食材を使用した料理を披露し、来場者の注目を集めました。

12月25日と30日に全国放送されますので、皆さまぜひご覧ください。



「きょうの料理」放送予定【Eテレ(全国放送)】

12月25日(水)午後9時~9時25分

12月30日(月)午前11時~11時25分(再放送)

※放送時間は変更になる場合があります。

NHK「きょうの料理」の公開収録に出演した平野レミさん(中央)と後藤繁榮さんが卵の詰め放題に挑戦

全農 ZEN-NOH

COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

毎週土曜日13時~ TOKYO FM系列38局ネット

12月21日放送のプレゼントは、埼玉県産小麦「ハナマンテン」と、小麦のふすま(ブラン)を使用したパンのセットを3名様に。共立女子大学の学生と共同開発した商品で、小麦の風味豊かで、もちもちとした食感が特長です。

また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは12月21日の放送でランキング1位の曲が発表されるまでです。

こちらの商品はJAタウンからご購入いただけます。

JAタウン www.ja-town.com/shop/c/c3301/
(ショップ名:埼玉・暮らしのとなりが産地です)

JAタウン ショップ紹介

JAタウン |

検索
クリック

JA紀州(和歌山県)



JAタウンは
こちらから



南高梅 tomato-ume (60g×3個セット
化粧箱入り 塩分約8%)1900円

南高梅のふるさとJA紀州から紹介するのは、新感覚のデザート系梅干し「tomato-ume(トマト梅)」です。

特産の「南高梅の梅干し」と、JA自慢の甘〜いミニトマト「^{ゆうとうせい}優糖星」との^あおいしい出逢いから生まれた「tomato-ume」。

最低糖度が8度以上の甘さを誇る高糖度ミニトマト「優糖星」の果汁に「南高梅の梅干し」をじっくり漬け込みました。

まろやかな甘いトマトの味の梅干しは、ご飯のお供と言うよりはデザートとして楽しんでいただけます。

デザート風パッケージにトマトソースを付けてお届けしますので、お好みでトマトソースを追加してお召し上がりください。

ミニトマトと梅のちょっと不思議なコラボの「tomato-ume」。この機会にぜひ、ご賞味ください。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <https://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。

